


分野	51	環境共生
施策	512	生活環境の保全
5年後の目標	大気・水質、騒音などの環境基準が守られ、自然環境と調和した、快適で健康的な生活環境が保全されている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	環境監視事業		会計	款	項	目	3,741,439	環境政策室
			一般	4	1	7		
事業の概要								
大気・水質・騒音・振動等の状況について調査・把握・評価を行い、生活環境保全のための監視・指導を行います。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	小畑川、小泉川の透視度:30cm以上、BOD:2mg/ℓ以下、PH:6.5~8.5の維持状況				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	(小畑川(井ノ内橋)) 透視度:27cm BOD: 1.1mg/ℓ PH:7.9 (小泉川(西代橋)) 透視度:30cm以上 BOD:0.5mg/ℓ以下 PH:7.7 (平成26年度)	目標	指標に掲げる状態の維持	指標に掲げる状態の維持	指標に掲げる状態の維持	指標に掲げる状態の維持	指標に掲げる状態の維持
		実績	(小畑川(井ノ内橋))透視度:30cm BOD:0.7mg/ℓ PH:8.0(小泉川(西代橋))透視度:30cm以上 BOD:0.5mg/ℓ以下 PH:7.9				
	<ul style="list-style-type: none"> ・大気、水質、騒音、振動等を委託及び自主検査により実施しました。 ・大気調査は67か所で調査を実施しました。 ・水質調査は地下水及び河川の15か所で調査を実施しました。 ・騒音調査では、環境騒音及び自動車騒音で31か所の調査を実施しました。 ・調査で得られた結果は国や京都府などに報告するとともに、関係部署にも提供し、情報共有に努めています。 						

施策の「5年後の目標」に対する評価			
平成28年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド 対応頁
		小畑川・小泉川の主要河川水質指標	PH値(水素イオン濃度)6.5~8.5、BOD(生物化学的酸素要求量)2mg/ℓ以下です。 209 210
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度) 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大気調査は環境基準の超過はありませんでした。 ・農業用井戸のうち1か所で環境基準の超過が認められましたが、農業用水としての基準以下でした。 ・河川のうち5か所で水素イオン濃度・BOD(生物化学的酸素要求量)・全亜鉛のなかの一部の値が一時的に環境基準を超過していました。 ・騒音調査では5か所で一時的に環境基準を超過していました。
	課題等	・河川の測定項目の一部の値が、水温・工場ならびに家庭からの排水等の影響で一時的に環境基準を超過することがあり、今後も継続して監視を続ける必要があります。	

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1:計画通りに進めることが適当 対応策等 ・環境保全意識向上のためにも関係する機関と協力しながら、市民、事業者等への環境保全に対する理解を求めていく必要があり、今後も継続して生活環境保全のための監視・指導を行います。

分野	51	環境共生
施策	512	生活環境の保全
5年後の目標	大気・水質、騒音などの環境基準が守られ、自然環境と調和した、快適で健康的な生活環境が保全されている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	環境都市宣言啓発推進事業		会計	款	項	目	782,546	環境政策室
			一般	4	1	8		
事業の概要								
環境フェア等の実施を通じて、市民の環境活動への参加を促し、“環境の都”長岡京の実現のため取り組みを進めます。 また、西代里山公園を拠点に、環境活動団体がつどい、協働による環境まちづくりを進めます。								

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	環境フェアへの参加団体・企業数				単位	団体
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	31(平成26年度)	目標	32	33	33	34	34
		実績	34				
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11月19日(土)に第8回環境フェアを開催し、約800名の来場がありました。 広報長岡京やホームページで新規出展者を募集したところ2事業所の応募があり、またほっこりんぐに出展依頼をしたところ平成27年度より1事業所増え、3事業所の出展がありました。 新たな事業所の参加により、イベント内容の充実を図ることができました。 参加団体等の多様な環境活動を知ることができ、参加した市民の方に自分自身がどんな取組みができるのかということを考えてもらうためのきっかけづくりができました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		—	—		—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 環境フェアへの参加団体数及び出展の問い合わせが増加しており、事業所・団体の環境意識が向上していることがうかがえます。また参加団体等の活動内容もさまざまであるため、来場者には環境について考え、取り組んでもらうための良いきっかけづくりの場となっています。当日実施したアンケートでは、子どもが楽しめ、大人が勉強できるいい機会であったという声もありました。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 出展希望団体等が増えていますが、出展スペースの確保が課題です。現在、中央公民館及び市民ひろばで開催していますが、参加団体に対してスペースがひっ迫しています。多くの取り組みを知ってもらう機会にするため、会場のレイアウトなどを検討する必要があります。 イベントで知った環境の取組みを市民の方がどのように実践されているかの把握ができていません。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	対応策等 <ul style="list-style-type: none"> 環境フェアへの参加団体・企業数は目標を上回るペースで増加していますが、今後も計画どおり取組みを進め、市民の環境活動への参加及び環境の取組み実践を促します。